

## 第 395 回静岡エフエム放送番組審議会議事録

1. 日 時 令和 5 年 10 月 3 日 (火) 11:00~13:00
2. 場 所 静岡エフエム放送本社会議室
3. 番組聴取講評 [番組名] K-MIX らじコン  
[放送日時] 令和 5 年 9 月 23 日(土)  
11:00~12:55  
[出演者] 久保ひとみ 京太郎 鈴木愛実
4. 出席者 [委員] 委員長 木宮敬信 委員 角田哲康  
委員 服部乃利子 委員 加藤裕治  
委員 小野晃司 委員 土屋維子  
[会社] 代表取締役社長 井熊正浩  
取締役放送事業本部長兼編成制作部長 杉山啓充  
編成制作部専任部長 鈴木秀明  
編成制作部担当部長 寺田和史
5. 事務局報告 ○ K-MIX の、中間決算の状況と  
上半期の K-MIX のトピックスを報告

### 6. 番組審議

- [番組名] K-MIX らじコン  
[放送日時] 令和 5 年 9 月 23 日(土)11:00~12:55  
[出演者] 久保ひとみ 京太郎 鈴木愛実  
[番組内容] 毎週 1 つのコンセプトを掲げ、  
テーマに沿ったコンテンツをお送りする。  
京太郎を中心に全力でリサーチした成果を久保  
と鈴木に披露。2 人の反応や如何に！?  
週末の、楽しくてためになるワイドプログラム。

#### [聴取・合評での主な意見]

#### 土屋委員

今回の番組のコンセプト「油、石油」について、  
わかりやすく正しい情報を適度なレベルで伝えている。  
勉強要素も強いが、そこに偏らずにクイズやトークの軽快さで、  
面白く演出している。また、軽くはないテーマであるのにも  
かかわらず聴取者から多くのメッセージが届いており、感度が

高く、見識のある聴取者が聴いていることがわかる。  
パーソナリティ3人の脱線トークが光っており、久保が  
その光に輝きを増している。また聴きたくなる番組。

小野委員

今回のコンセプトの「石油」について、教科書で習うレベル  
から、石油やガソリンの値段が高い現在の状況、新しい石油、  
電気自動車等々、どんどん番組の内容に興味を持たせる玄人技の  
京太朗の演出、パーソナリティの久保ひとみのテンションが高く  
賑やかな個性、さらに、鈴木愛実の、京太朗と久保の間を繋ぐ  
存在が効いている土曜の昼にぴったりの番組。1つのテーマで、  
1回分の放送を構成している所が個性的に感じた。

加藤委員

「石油」にしっかりと向き合うことができた初めての番組。  
最初のアプローチこそ硬く感じたものの、番組が進むに  
つれて、どんどん面白くなり、最後まで聴けてしまった。  
これは、京太朗がしっかり骨組みを考え、久保が面白くボケて  
ツッコみ、鈴木が久保とは違う、二人と距離をとりながら、  
ツッコむというそれぞれの役割が大きいと思われる。  
安心して聴くことができる番組ではあるが、このまま、番組が  
定着して行くのか、鈴木の実熟度のアップと共に新旧の対決感  
が出てくるのかが楽しみでもある。聴取者から寄せられる  
メッセージの実熟度も高いと感じた。

服部委員

1つのコンセプトの全てを番組内で伝えられないことは当然  
ではあるが、京太朗は内容を咀嚼しており今回の石油について、  
その歴史から現在、そして、未来まで良く調べている。また、  
久保はそのキャラクターが際立っており、鈴木は聴取者の目線  
で相槌を打っていたところに好感が持てる。聴取者が、時には、  
パーソナリティをフォローしており、それらを含めて、  
メッセージを送りたいと思う仕掛けが出来上がっている。  
最初の導入部分が少し硬さを感じたが、わかりやすく伝えよう  
とする意欲は十分感じる事ができた。  
3人のトークのバランスがとても良かった。

角田委員

久保と京太朗のトークがよかった。特に久保は、良い経験を重ねたことで、ラジオトークがとても聴きやすいと思う。ここに鈴木がアナウンサーとしての技術を入れてみると、3人パーソナリティという番組の価値がさらに高まると思う。1つのコンセプトを通す番組の場合、テレビは、映像もあるので、保たれるが、ラジオの場合は、少し、聴き疲れを感じるかもしれない。この番組にも散りばめられているが、箸休め的な要素を織り込むと良いと思う。この番組を必ず聴く人以外を引き込む要素を入れた方が、番組はより大きく発展すると思われる。

木宮委員長

教養とエンターテインメントを兼ね備えた番組で、概ね楽しく聴くことができたので、エンタメとしても一定の効果がある番組。久保は、ラジオのトーク力がベースとなって良さが出てくるパーソナリティであり、他者と会話することによって、より面白さが増す。久保、鈴木が毎回のコンセプトを当日知らされるということであるが、いわゆる初見の面白さはトークに活かされている。例えば、時には、久保は初見で、鈴木は事前に知っていて、京太朗の情報の補足にまわるという方法もあるのではないか。

教養バラエティ番組は一定のニーズもあり、ラジオで行う良さもある。コンセプトの選定が最も難しいが硬いテーマでも成立している番組だと感じる。

会社サイド

今回も、貴重なご意見をありがとうございます。10月からは、スポンサーが久保ひとみの面白さに期待をして決定した新コーナーも控えております。本日のご意見をパーソナリティ、スタッフとも共有いたします。

以上

次回開催日 令和5年11月7日(火) 11:00~13:00を予定

番組審議会委員長  
木宮敬信